

仙台市役所本庁舎建替基本計画(中間案)に対するご意見と本市の考え方

資料 2

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
1	目指す方向性・基本整備方針	「仙台市役所新本庁舎の目指す方向性 イメージ図」及び「新本庁舎のコンセプトイメージ図」の具体的な整合性を図りつつ、新本庁舎の存在感を適切に示してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
2	目指す方向性・基本整備方針	市役所建替がまちに与える影響として、「借用庁舎の借用終了に伴う空きオフィス問題」「さらなる路線価の上昇が予想される中での賃貸ビルオーナーへの影響」等の課題があり、住民・事業主とも連携した「街づくりのコンセプト」が大切と考えるため、仙台市として、周辺地域のまちづくりの検討をどの部署が、どのように、今後行っていくのが明示してほしい。	新本庁舎を含む勾当台エリアのまちづくりについては、今後、まちづくり政策局を中心に策定予定の「勾当台エリアビジョン」を踏まえ、庁内担当部署と連携しながら具体的なまちづくりの施策について検討していきます。
3	目指す方向性・基本整備方針	仙台市役所新本庁舎の目指すべき3つの方向性及び4つのコンセプトに対しては特に賛同するので、引き続き検討を進めてほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
4	建物配置・空間構成	新本庁舎の駐車施設について、勾当台市民駐車場と一体化により、宮城野区役所と同様に時間貸駐車場としての活用を検討してほしい。また、北側平面駐車場等も同様に時間貸駐車場としての活用を検討してほしい。	駐車場の運用方法等については、設計段階において引き続き検討します。
5	建物配置・空間構成	既存の施設との機能の重複や、分庁舎への分散、区役所に移管できる業務を見直すことにより、庁舎のコンパクト化は可能であり、新庁舎は行政と危機管理のみの機能で十分と考えるため、庁舎の高層化をやめ、定禅寺通や勾当台公園の樹木に溶け込むような高さにとどめてほしい。	新本庁舎の高さや規模等の整備内容については、設計段階において引き続き検討します。
6	建物配置・空間構成	表小路線を廃止して市民広場と一連の敷地とすれば、使い勝手は格段に向上し、庁舎の建築条件も余裕ができると考えるため、検討してほしい。	勾当台公園市民広場を含む新本庁舎周辺エリアの利活用に関しては、市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、設計段階において引き続き検討します。
7	建物配置・空間構成	「工事順序の考え方」について、工事中の地下の公用車駐車場と地上の外来車駐車場をどこに確保すべきか、適切に整理してほしい。	工事着手後の駐車場の運用方法については、既存の市営駐車場の活用等を含め、設計段階において引き続き検討します。
8	建物配置・空間構成	勾当台公園地下駐車場のうち、一般車利用可能台数はどれぐらいになるのか適切に整理してほしい。また、大雨の際に浸水の危険がないよう整備してほしい。	勾当台公園地下駐車場及び新本庁舎敷地内駐車場との機能連携による一般車利用可能台数枠の見直し等については、設計段階において引き続き検討します。 また、地下施設における浸水対策に対するご意見については、担当部署と共有します。
9	建物配置・空間構成	既存の庁舎を解体し、分庁舎等に仮移転したうえで、新本庁舎の建設位置を敷地の中央北寄りとしてほしい。 そうすることにより、北庁舎や青葉区役所との連携が良くなり、市民、職員も便利となるほか、新庁舎南側広場が広く確保できる。	現本庁舎における市民等の利便性確保や、迅速な災害対応を行う必要があるという観点から、行政機能等の分散は回避する必要があり、現本庁舎高層棟を残しながらの建設工事とします。 また、新本庁舎の配置や高さ、規模等の整備内容、区役所等との連携については、設計段階において引き続き検討します。
10	建物配置・空間構成	商業施設等における車番認識システム・満空情報の案内をWEBで行う仕組みなど、本庁舎における駐車場等の整備については、限られた駐車スペースを有効活用するとともに駐車場待ちによる渋滞や精算手続きの簡略化のためICT活用を検討し、サービス向上を検討してほしい。	駐車場の運用方法等については、導入の可否も含めて設計段階において引き続き検討します。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
11	建物配置・空間構成	仙台市役所の新庁舎建設に伴う西側街区における「住環境への影響」について懸念があるため、整備計画が進展する中で、適切な時期に「周辺街区の住民等への適切な説明」等をしてほしい。また、地盤への影響が懸念される場合には「家屋調査」等の影響調査の実施など、適切に対応してほしい。	周辺地域への影響調査や地域住民への説明等については、時期や方法等を引き続き検討のうえ、適切に対応します。
12	建物配置・空間構成	新庁舎の建物そのもののデザインについては、省エネルギーや地球環境への配慮も踏まえた先進的なデザイン、木造と鉄骨造のハイブリッド構造の建物など、ありふれたものではなく杜の都仙台を象徴する個性ある市庁舎建設を実現いただきたい。	新本庁舎のデザインや環境配慮技術等については、設計段階において引き続き検討します。
13	建物配置・空間構成	勾当台公園市民広場の活用度は高く、市民協働の場所としての認識も高いため、新市庁舎との一体的活用の計画を考える上で低層部のデザインは大変重要。そのため、市民広場の運営や貸与機器設備の設置・簡易屋根の設置など、市民がより使いやすくなる方向で計画してほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、設計段階において引き続き検討します。
14	建物配置・空間構成	新本庁舎の駐車場と勾当台公園地下駐車場を一体的に活用する点は大いに賛同する。さらに地下鉄勾当台公園駅との繋がりができるようにしてほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
15	建物配置・空間構成	新本庁舎におけるアイストップの整備イメージを具体化し、今後の整備の方向性を分かりやすくしてほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
16	建物配置・空間構成	今後の中長期的な都市戦略としては、地域の特性に応じた多様な交通モードと最先端技術を組み合わせられるような交通基盤が必要と考えるため、敷地内広場の整備方針の中で、新たなモビリティを受け入れるための整備について検討し、将来の交通モードや交通技術を受け入れる空間整備について検討してほしい。	将来的な交通政策の整備等については、設計段階において関係部署と協議しながら引き続き検討します。
17	建物配置・空間構成	一番町商店街からの軸線に位置する道路空間は、一番町から市民広場へのアプローチとして非常に重要な役割を担っており、市民広場地下駐車場出入口の整備とも関係するなど、周辺施設との関係性も深いため、当該道路空間の整備に関する記載を基本計画に加筆してほしい。	道路空間整備については、設計段階において関係機関とも調整を図りつつ検討を進めてまいります。
18	機能別整備方針 (議会機能)	議会組織の配置については、有権者である市民の傍聴のしやすさ(傍聴席までの最適なアクセス、適切な放送設備、良好な視界等)という観点にも留意してほしい。	議会機能の配置等については、今後、設計段階において検討します。
19	機能別整備方針 (議会機能)	議会棟は、行政棟と別棟とし、現況同様、行政庁舎に向かって左側に建設し、最上階は、市民や他県等からの来庁者への情報発信のために開放してほしい。 議会庁舎を別棟にすることにより、新庁舎には市長部局の約2,600人だけでなく行政委員会約400人も入居でき、事務の効率化及び議会対応等の能率化、市民の利便性が大いに確保されるため、改めて検討してほしい。	新本庁舎の棟数については、迅速な災害対応や環境負荷の抑制、ライフサイクルコストなどの観点から1棟整備とすることとしており、市民サービスの向上に向けて、設計段階において引き続き検討します。
20	機能別整備方針 (議会機能)	議会機能における議場は、窓の必要がなく、また、議会関係の諸室は1年のうち半分の期間しか使用しないため、上層階に配置しない方が良いと考えるため、改めて検討してほしい。	議会機能の配置については、議場が大空間を必要とし、構造上の利点などが大きいため、高層部に配置することとしています。詳細については、設計段階において引き続き検討します。
21	機能別整備方針 (議会機能)	議場は、市民に開かれた、民主的な場の代表として、権威的というより柔軟性や多文化共生を重視して、多様な利用者にとって使いやすいデザインとしてほしい。また見学・傍聴がしやすく、休会中は市民利用ができるようにしてほしい。	新本庁舎における各諸室の整備方針等については、頂いたご意見も踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
22	機能別整備方針 (行政機能)	行政機能の高度化として、国(合同庁舎A・B棟)、県庁、市役所間の地下通路、空中連絡路を設置してほしい。また、震災時の協定済みのドコモ東北ビルを始め東北電力本社ビル、NHK仙台放送局とのハードソフト両面での連絡手段について検討してほしい。	通路の設置については、貴重なご意見として参考とさせていただきます。 連絡手段の確保については、頂いたご意見を踏まえ、導入の可否も含め設計段階において引き続き検討します。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
23	機能別整備方針 (行政機能)	行政文書のペーパレス化を促進するなど、新本庁舎の内部が倉庫化しない計画が必要。また、これまでの行政文書の保管場所として、仙台市の公文書館を別途設けてほしい。	新本庁舎における倉庫を含めた各諸室の整備方針等については、設計段階において引き続き検討します。また、公文書館については、別途開館に向け準備を進めているところです。
24	機能別整備方針 (行政機能)	職員の執務室については、職員が外部の様々な組織や個人と打ち合わせをする時に、柔軟で可変となる環境を整備してほしい。	新本庁舎における各諸室の整備方針等については、頂いたご意見も踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
25	機能別整備方針 (行政機能)	保健所に医療用具を補完する専用倉庫を庁内に設置してほしい。また、感染防止用の設備を庁内に設置してほしい。	各諸室の整備方針等については、導入の可否も含め設計段階において引き続き検討します。
26	機能別整備方針 (行政機能)	技術担当局の積算・設計書類は1件当たりの分量が相当量となるため、専用保管庫を設置してほしい。	各諸室の整備方針等については、設計段階において引き続き検討します。
27	機能別整備方針 (災害対策機能)	宮城県防災拠点(仙台市宮城野区)、仙台東道路構想さらに東北6県や新潟県、新潟市と連携して、大規模災害時の被災地支援の実施時に活用できる宮城・仙台の拠点機能として市役所機能を整備してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
28	機能別整備方針 (災害対策機能)	災害対応に関して、地域防災計画に掲載されている①地震・津波、②風水害、③原子力に④感染症も加え、それぞれの対応方針を適切に整理してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
29	機能別整備方針 (災害対策機能)	大災害が発生した場合に備えて、帰宅困難者の避難スペースや、災害備蓄品を収納する倉庫等を配置してほしい。また、仙台市災害対策本部の専用会議室を配置し、各庁舎間で接続可能なテレビ会議の設備を整備してほしい。	災害対策機能の整備方針等については、設計段階において引き続き検討します。
30	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	子育て世代のための授乳室や荷物を置くスペース、ベビーカーを置くスペースがほしい。 子育てをする親も、子供も、心が躍り、豊かになるよう空間がほしい。 本庁に用事がある市民はもちろん、お買い物に出てきた市民も子供と一緒に立ち寄れるような憩いの空間がほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、設計段階において引き続き検討します。
31	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	低層階に、市民の憩いの場としての演出のため、現在せんだいメディアテークで実施している「smtオープンピアノ」の実施場所を新本庁舎低層階に移動し、東京都庁にある「都庁おもいでピアノ」のように利用してほしい。また、その効果実証のため、試行的に現本庁舎1階で実施することも検討してほしい。	まちの賑わいに貢献し、市民が集まり立ち寄りやすくなるよう、必要な機能を精査し、具体的な方策について設計段階において引き続き検討します。
32	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	新本庁舎建設時には、青葉区役所側の平面店舗になるよう物販施設を設置していただき、営業時間を拡大してほしい。 また、物販施設に隣接して市役所内証明発行センターを設置し青葉区窓口の機能を一部補完することで、市民サービスを向上させてほしい。 業務効率向上のため、中・上層階の職員用スペースの一部に、宮城野区役所に設置されているような無人コンビニのスペースを設けてほしい。	頂いたご意見については、今後、設計段階において検討します。
33	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	新本庁舎建設時には、市役所低層階に郵便局を誘致し、特定記録郵便の利用を容易にすることにより、郵送コスト低減に努めてほしい。	頂いたご意見については、今後、設計段階において検討します。
34	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、飲食物の販売は店舗型ではなく、移動販売車による販売割合が大きくなることが想定されるため、新本庁舎内には飲食店舗を敢えて設置せず、代わりに、イベントを開催していない日の敷地内広場に複数の移動販売車駐車スペースを設け、飲食物の販売車両を募集してほしい。 また、低層階イベントスペースを時間制限付きで飲食可とし、新たな日常に対応した、賑わいのある、クラスターの発生しにくい飲食形態を提供してほしい。	まちの賑わいに貢献し、市民が集まり立ち寄りやすくなるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について設計段階において引き続き検討します。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
35	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	P26「5-4 市民利用・情報発信機能」関連について、庁舎への用事のときに休むための「市民の部屋」が必要です。 市民の部屋は仙台市庁舎全体の顔であり、リビングルームのような部屋である必要があると考えます。 また、青天井のイングリッシュガーデンを整備し、市民の部屋側にテラスを設置することで一体的に利用できるようにしてほしいです。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、引き続き基本設計において検討します。
36	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	庁舎玄関ホールに簡易な音響対策(内装材等の選定工夫)を施すと共に、ランドピアノを設置して市民が自由に弾けるようにしてほしい。また、定禅寺ジャズフェスではライブ会場としても利用できるように仮設の照明や電源設備の設置を検討してほしい。	まちの賑わいに貢献し、市民が集まり立ち寄りやすくなるよう、必要な機能を精査し、具体的な方策について設計段階において引き続き検討します。
37	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	最上階は、展望スペースやカフェ(テーブルや椅子、自動販売機を設置)など市民の憩いの場所にしてほしい。	市民利用機能の整備に係る具体的な方策については、設計段階において引き続き検討します。
38	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	共用会議室を時間外開放する場合には使用料を徴収するなどし、時間外開放をより積極的に導入してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
39	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	仙台の観光発信として、七夕飾りを通年飾ったり、青葉まつりのビデオを流したり、光のページのパネルを設置するなど、観光客も楽しめるような仕掛けを整備してほしい。	情報発信機能の整備に係る具体的な方策については、設計段階において引き続き検討します。
40	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	地域に閉じずに海外や産学の連携などによるイノベーション創出が実現できるよう、ビデオ会議システムの利用可能な会議室の提供や、地域の人々の交流ができるオープンな空間とハード面の強化を図り、協働のまちづくりに寄与する空間の提供を検討してほしい。	まちの賑わいに貢献し、市民が集まり立ち寄りやすくなるよう、必要な機能を精査し、具体的な方策について設計段階において引き続き検討します。
41	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	東北の食材を使った魅力発信のため、地産地消のレストランや物品販売スペースを整備してほしい。 また、ユニバーサルデザインを基本とする本庁舎には、障がいのある人の就労支援の場の設置し、全国に発信できるよう検討してほしい。	市民利用機能の整備に係る具体的な方策については、導入の可否も含め設計段階において引き続き検討します。
42	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	市民利用のための空間は、いい空間だから立ち寄りやすい仙台の雰囲気醸し出す、上質の空間を創造してほしい。 必要な部屋を細かく区切るのではなく、今後、常識化する新しい設備を取り入れられるようなチャレンジ空間とすべきであり、また、設計時点で市民とのワークショップなどを十分に取り入れてほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、設計段階において引き続き検討します。
43	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	市役所本庁舎は、市民・議会・行政が市政課題について話し合うことができる仙台市唯一の場となる可能性を秘めているので、未来の仙台をつくってゆく機能を持てるよう、基本設計段階でも低層部の機能について議論してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
44	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	低層階については、震災メモリアルの中心部の拠点として整備してほしい。また、レストランや物販など民間が自主的に運営・経営するものだけでなく、市の各部署や施策と連携・協働が必要なもの、仙台市のビジョンや問題解決、課題へのアプローチに関わる取り組みに活用できる空間にしてほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、設計段階において引き続き検討します。
45	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	新本庁舎低層部に市民利用・情報発信機能を整備することに関して、仙台市博物館や戦災復興記念館との連携や役割分担についても検討し、このような機能を持つ庁舎のデザインについて、仙台の文化・歴史や芸術性を象徴するようなものにしてほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、頂いたご意見も踏まえ、設計段階において引き続き検討します。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
46	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	市民利用・情報発信機能における「展望スペース等の整備」、及び新本庁舎高層部の議会機能における「市民に身近で開かれた議会」の双方を実現するための効果的な方策として、展望空間を整備し、併せて議会広報などの情報発信を行う設備を設置するなど、誰でも訪れることができ、かつ議会機能の広報活動や情報発信機能も併せ持つような展望機能を検討してほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、頂いたご意見も踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
47	機能別整備方針 (市民利用・情報発信機能)	1階に、銀行と郵便局を設置してほしい。また、「地方自治資料センター」を配置し、「市政資料」とのほか、「地方自治」「地方財政」に関する資料を配架してほしい。併せて、「公文書センター」を配置し、閲覧スペースを配置してほしい。	市民が集まり、立ち寄りやすくなる環境となるよう、必要な機能を精査するなど、具体的な方策について、導入の可否も含め設計段階において引き続き検討します。
48	新本庁舎の性能・水準	市庁舎の建設に温暖化阻止の対策を取り入れようとする姿勢が、詳しく示されていて楽しみである。 ヨーロッパならnearlyZEBを前提に建て替えられるが、仙台はどうかと期待している。 nearlyZEBの前提は、エネルギーをほとんど自前で用意し過不足分を蓄電して使う代わりに、必要なら系統の電力に協力を仰ぐということが前提であり、自前で電力を賄えないと、nearlyZEBではなく省エネルギー建造物ということだけになってしまう。 これまでのエネルギー消費量の50%の電力で賄うとする手法については、様々な手法を検討してほしい。	新本庁舎の環境配慮技術等については、今後、設計段階において検討します。
49	新本庁舎の性能・水準	都市災害と、その他の災害(自然災害や、大気汚染、水質汚濁、地盤沈下、交通災害、火災等の人為的災害)を切り離さずに検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、「自然災害等のほか、都市停電や都市火災等の都市災害に対する安全性を確保します。」に修正します。
50	新本庁舎の性能・水準	非常用発電機の燃料は、防災評定を取得した中圧ガス配管として常用のコージェネレーションの採用を検討してほしい。	非常用発電設備の構成については、頂いたご意見を踏まえ、今後、設計段階において検討します。
51	新本庁舎の性能・水準	トイレの洗浄水に井水を利用する主たる目的はBCPではないと考える。	災害時における停電や上水道の途絶時にも、トイレ洗浄水に井水を利用可能とすることを検討しており、BCPの目的も兼ね備えるものと考えております。
52	新本庁舎の性能・水準	ライフラインである上水道、下水道、ガス、通信の確保について記載がないが、同様に検討してほしい。	ライフラインの確保については、頂いたご意見を踏まえ、災害に配慮した計画とし、今後、設計段階において検討します。
53	新本庁舎の性能・水準	ウェルビーイング実現例のイメージが記載されているが、睡眠設備を導入する意図や、雨水利用が関与するのかがどうかが不明のため、適切に整理してほしい。	睡眠設備については、休息スペースに修正します。また、雨水利用については削除します。
54	新本庁舎の性能・水準	今後、テレワーク等の電子業務の普及により執務室面積を少なくし、その分セキュリティを重視する民間・団体等に有償で貸し会議室にできるよう可動式の壁を設けた空間を整備してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、今後、設計段階において検討します。
55	新本庁舎の性能・水準	大規模な火山噴火による微細な降灰への対応やコロナ禍対策としての換気設備は十分な機能や性能を有したもので検討してほしい。また、井戸水を災害時飲料水に利用するよう検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、今後、設計段階において導入の可否も含め検討します。
56	新本庁舎の性能・水準	庁舎で働く人が心身ともに健康な状態で働きやすい職場環境を提供するため、実際に執務に当たる職員の意見をもっと聞いてほしい。また、スペース、セキュリティ、打ち合わせの頻度など、部署によって執務環境に差があるため、実際に執務に当たる職員の意見を把握してほしい。	実際の執務に当たる職員の声を把握すると共に、今後、基本設計において働きやすい職場環境となるよう具体的な方法について検討します。 実際の執務に当たる職員の声を把握し、働きやすい職場環境となるよう、設計段階において引き続き検討します。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
57	新本庁舎の性能・水準	本庁舎の竣工時期を踏まえ、相応のテレワーク導入を前提とした執務エリアの縮小やビデオ会議のための小型個室の設置など、将来のコミュニケーション手段を見据えたレイアウト及び設備投資を検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
58	新本庁舎の性能・水準	高齢化社会を見据え渋谷区役所の様に来庁者に各窓口を移動させるスタイルではなく、来庁者に要件を伺ったうえで各ブースへ案内し、職員が来庁者ブースに移動することで市民目線の行政サービスの質の向上が期待できるよう市庁舎を整備してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
59	新本庁舎の性能・水準	環境負荷の低減、サステナブルであること、パッシブエネルギーの利用の最適化など、コロナ禍の対応では、これまでの空調システムの循環空気ではなく窓開け換気が推奨される事態となっている点等を踏まえ、この分野についてはフレキシブルな対応にチャレンジしてほしい。	新本庁舎の環境配慮技術や空調設備等については、今後、設計段階において検討します。
60	新本庁舎の性能・水準	市庁舎は市民のものでもあります。内部で働く人々のための空間でもあるため、新しい仙台市役所で働きたい、という優秀な人材が集まるよう、「働き方改革」を率先して取り入れ、民間企業の見本となるよう整備してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
61	新本庁舎の性能・水準	「環境共生」の世界的潮流に取り残されないよう、世界に先駆けた取り組みを検討し、80年後の未来に向けた「次世代の杜の都を体現した庁舎デザイン・都市空間」を実現してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
62	新本庁舎の性能・水準	災害対応として太陽光発電の事例があるが、下水熱や地中熱等も検討してほしい。また、雨水を貯留してトイレ用水に活用する等の手法も検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、導入の可否も含め、今後設計段階において検討します。
63	新本庁舎の性能・水準	執務環境性能を確保する観点から、オフィスレイアウト方式のメリット・デメリットを整理するにあたり、新型コロナウイルス等の感染症についても検討してほしい。	新型コロナウイルス対策については、執務形態の変更への柔軟な対応や、災害対応及び業務継続性の強化の観点も含め、今後も引き続き検討します。
64	新本庁舎の性能・水準	ウェルビーイングの実現に関して、光環境の中に太陽光照明(光ファイバー方式)導入を検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、導入の可否も含め、今後設計段階において検討します。
65	庁舎の集約等	北庁舎と二日町駐車場の跡地に青葉区文化センター(青葉区中央市民センター、青葉図書館)を建設してほしい。	北庁舎及び二日町駐車場の跡地については、比較的大規模な公用施設等の建替用地としての利活用の方策などについて、引き続き検討します。
66	庁舎の集約等	本庁舎は民間ビルの賃借や分散型庁舎といった形態としない整理について、説明が不足しているため、改めて整理してほしい。	仙台市役所本庁舎建替基本構想において、民間の賃借ビル活用についてはコストの観点から、また、分散型庁舎については来庁者の利便性等の観点から、ともに支障があるものと判断しており、現在、建替による庁舎の集約に向けて検討を進めております。
67	庁舎の集約等	仙台市が所有する施設を見直し、テレワークの拠点、機能分散を図るなど建替する本庁舎との施設の連携を図り、効率的な公共施設マネジメントのシステムを検討してほしい。	仙台市役所本庁舎建替基本構想において、分散型庁舎については来庁者の利便性等の観点から支障があるものと判断しており、現在、建替による庁舎の集約に向けて検討を進めています。
68	庁舎の集約等	新型コロナウイルスへの対応を見据え、床面積については、縮小や拡大・分散など柔軟に見直しができる仕組みを検討してほしい。	新本庁舎の規模については、設計段階において引き続き検討します。
69	事業手法・スケジュール	事業手法に関して、設計施工分離発注方式を採用した場合の、地元業者の参画についても検討してほしい。	設計施工分離発注方式の採用による地元企業の参画機会の確保については、引き続き検討していきます。
70	事業手法・スケジュール	事業手法に関して、DB方式を採用しない理由として、「今般の新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響が見通せず、過去の同様な工事実績では適切な建設コストの想定が困難」など、適切な理由を整理してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
71	事業手法・スケジュール	発注方式のうちPFI方式は妥当でないとの記載があるが、施設整備段階より維持管理・運営担当企業が関与し維持管理・運営面での効率的な諸室配置等を提案することや、長期契約期間内での事業者の作業効率向上等により性能発注の要求水準書に基づく質の高いサービス実現等の観点、事業費の適正化といった観点も踏まえ、PFI方式での整備を再度検討してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
72	事業費・財源	少子化の影響で人口減少が予想されていることに加えて、新型コロナウイルスの影響により、震災復興の影響や将来的な災害への対策など多くの課題を抱えていることを踏まえ、市役所の建替により将来の負担を増やさないよう、整備費用及び整備計画を再考してほしい。	ライフサイクルコストを最適化できるよう、今後も事業費の精査を続けていきます。
73	事業費・財源	事業費に関して、工事予定金額の高止まりが懸念されるため、改めて検討してほしい。	引き続き、類似規模の庁舎や事務所ビル等の状況を踏まえながら適切なコスト管理等について検討していきます。
74	事業費・財源	事業費の適正化については、情報把握等に留意し、適切な管理執行に努めてほしい。	ライフサイクルコストを最適化できるよう、今後も事業費の精査を続けていきます。
75	事業費・財源	今後厳しい財政状況となることが見込まれていることから、市役所本庁舎建替計画では、仙台市自ら課題と認識している課題の解決に資することで財政の健全化や市民サービスの向上を図り、税金を適正価格で最小限投入し最大限の効果を上げるよう検討してほしい。	ライフサイクルコストを最適化できるよう、今後も事業費の精査を続けていきます。
76	事業費・財源	使用期間中における建物の維持費用(修繕や各種設備更新費用(光熱水費や運転管理費用を除く))は、どれくらいの費用を見込まれるのか分かりづらいので、改めて整理してほしい。	維持費用については、導入する設備・機器の使用により決定するものであり、今後、設計段階における仕様の検討と並行して、ライフサイクルコストの適正化に努めます。
77	事業費・財源	ライフサイクルコストの観点から、建設費用や維持費用、最終処分費用も適切に検討してほしい。	引き続き、設計段階における仕様の検討と並行して、ライフサイクルコストの適正化に努めます。
78	今後の検討・その他	現行市民広場の管理については、貸し出しイベントにおける騒音、ごみ、周辺道路への路上駐車、使用時間の管理等が頻発しており、青葉区公園課では一向に改善されていない現状であるため、建て替えの場所を議論する前に改善してほしい。	頂戴したご意見については、担当部署と共有します。
79	今後の検討・その他	想定している災害は、地震や台風、大雨等の自然災害と大事故、大火災、テロ等の人為的で被害が短期的で限定したものだが、今般の新型コロナのような症状が重篤で感染力が大きく、全国・全世界的なもの場合は災害対策本部への集合同様に困難になると考えられる。そのため、一般執務室の整備及びウェルビーイングの実現の観点から、新型コロナウイルスのような重篤な感染症の拡大防止対策については、適切に議論してほしい。	新型コロナウイルス対策に関しては、執務形態の変更への柔軟な対応や、災害対応及び業務継続性の強化の観点から、今後も引き続き検討します。
80	今後の検討・その他	テレワーク(在宅勤務)、稼働率の低い施設のサテライトオフィス利用も検討してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、適切な執務環境のあり方について、引き続き検討していきます。
81	今後の検討・その他	今回計画されている新庁舎の使用期間は何年を想定しているのか分かりづらいので、改めて整理してほしい。	仙台市公共施設総合マネジメントプランにおいて、本庁舎の計画保全年数は80年を想定しております。
82	今後の検討・その他	今回計画されている新庁舎の使用期間経過後について、解体撤去または民間売却等のような想定しているのか、また、解体の場合はどれくらいの費用を見込んでいるのか、改めて整理してほしい。	新庁舎の使用期間経過後の利活用等については、現時点で未定ですが、今後検討していきます。
83	今後の検討・その他	宗教的視点ではなく、水と空気的环境学といった観点から、風水の考え方を取り入れてほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。

項番	分類	意見要約	意見に対する本市の考え方
84	今後の検討・その他	新型コロナの感染拡大により、先の見通しが難しいときに不急の箱物を建設するのは不適切であり、今後の状況を踏まえながら時期を再検討してほしい。	市役所本庁舎は、コンクリートの耐用限界まで残り8年と迫っており、地震等の災害から来庁者の皆様等の安全性を確保するとともに、本市が将来にわたって行政機能を果たしていくためにも、建替を行う必要があります。今後も整備に向けた取り組みを着実に推進していきます。
85	今後の検討・その他	新型コロナ後の社会、地方自治、経済の激変を踏まえ、また、基本構想の再評価も含め、議会、市民、NPO、経済団体等の意見を踏まえ多様な専門家とともに再評価を実施してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。
86	今後の検討・その他	仙台市役所の立地やけやき並木の景観は、仙台駅前に次ぐ仙台市の顔にあたる景観を構成する部分。そのためデザインの決定は、今回の建替えにとって大変重要な要素であり市民にとっても一番の関心事になるため、仙台市民に対して公開してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階でのデザイン決定に際する中間報告等については、実施時期や方法を含め引き続き検討していきます。
87	今後の検討・その他	敷地内緑化に関しては、市民に与える印象の重要度が建物の外観よりも高いと考える。そのため、「より良く育てていく」という意識が持てるような「杜の都の顔」となる緑化してほしい。また、デザインの公開してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、設計段階において引き続き検討します。また、デザイン決定に際する中間報告等については、実施時期や方法を含め今後検討していきます。
88	今後の検討・その他	仙台市役所の建替えに関して、仙台ラウンドテーブル等の市民参加型のシンポジウムを開催した点は高く評価できる。今後も、建替事業を推進するにあたり、「市民協働」を実現するための取り組みを行ってほしい。	新本庁舎の市民協働の取り組みに関しては、「市民利用・情報発信機能」の検討と併せて、関係部署と引き続き協議していきます。
89	今後の検討・その他	基本設計段階においても、これまでと同様に、市民意見を反映させる取り組みを積極的に行ってほしい。「市民協働のまち・仙台」にふさわしい次世代の「新しい市民協働の姿」を実現してほしい。	頂いたご意見を踏まえ、新本庁舎の市民協働の取り組みに関しては、「市民利用・情報発信機能」の検討と併せて、関係部署と引き続き協議していきます。
90	今後の検討・その他	インクルーシブ・デザインについて、設計においても使い手の意見を積極的に聞いていくco-designの観点を重視してほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
91	今後の検討・その他	新本庁舎供用までの間、市民参画検討の機会を無くすことなく、新本庁舎の活用を考えた場合の課題を設定し検討していく機会を定期的な作ってほしい。	新本庁舎の市民協働の取り組みに関しては、「市民利用・情報発信機能」の検討と併せて、関係部署と引き続き協議していきます。
92	今後の検討・その他	仙台市役所建替えの最大の理由は、建築設備の劣化及びコンクリートの中性化と説明されているが、既に耐震補強も行われ、現代における設備等の補修技術は進んでおり、老朽化の課題を解決して行くのに十分な実績を持っていると考えられることから、既存の庁舎を壊し、建て直すという前提を見直してほしい。	市役所本庁舎は、コンクリートの耐用限界が残り8年と迫っており、改修と建替の比較検討の結果、改修では庁舎の分散が解消できないこと、維持管理費の増加や分庁舎の改修費等が発生し経済性に乏しい点などから、建替えを行うこととしております。
93	今後の検討・その他	現本庁舎内の執務室は、廊下と壁で区切られており、廊下からは職員の執務状況が見えない。新本庁舎では、廊下と執務室の仕切りを腰壁までとする等、市民から常に見られる状況を整備してほしい。	各諸室の整備方針等については、設計段階において引き続き検討します。
94	今後の検討・その他	新たに公文書館を設置するのではなく、新庁舎の地階を活用し公文書館機能の整備を検討してほしい。	公文書館については、本庁舎建替とは別に準備を進めているところであり、令和4年度の開館を目指しているところです。
95	今後の検討・その他	基本構想の段階では考慮されていなかった新型コロナウイルス対策を適切に反映した計画としてほしい。	新型コロナウイルス対策に関する具体的方策等については、国や他都市の取組みも踏まえつつ、今後も引き続き検討します。